



豊里

より良い地域目指し意見交換

「とよさとタウンカフェVol. 3」(豊里コミュニティ推進協議会主催、佐々木信義会長)は5月26日、豊里公民館で開かれ、1、2年で達成したい目標をテーマに意見を交換しました。

同活動は、地域の住民が同世代との交流を通して人間力をスキルアップし、地域づくりに生かすことを目的に毎月開催。参加者からは、「イベントを通じた子どもたちとお年寄りの交流」など、さまざまな意見が出されました。

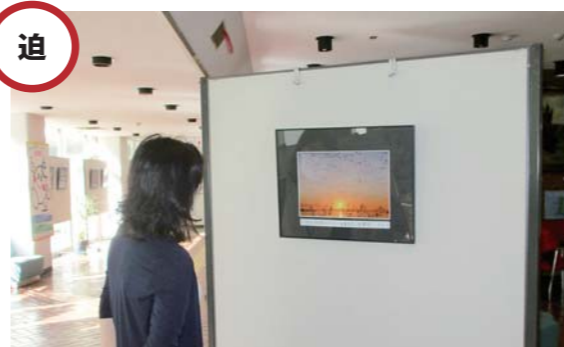
今年もチューリップ咲いたよ

道の駅米山「ふる里センターY・Y」でチューリップが、4月下旬から5月初めにかけて花を咲かせました。

同道の駅の西隣圃場では毎年、チューリップの開花時期に合わせて、「米山チューリップまつり」としてイベントなどを催していましたが、感染症拡大防止の観点から2年続けて開催を中止。そんな中でも植えられたチューリップは例年と変わらず色とりどりの花を咲かせ、地域を華やかに彩りました。



米山



迫

迫の自然の美しさを切り取る

「伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト」(同実行委員会主催、菊池永祐代表)で入賞した作品を5月12日から6月29日まで、市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターや市役所迫庁舎などで展示しています。

今回で30回目を迎えた同コンテストには数多くの作品が応募され、最優秀賞にはマガンが一斉に飛び立つ瞬間を撮影した青田真さんの作品「旭日に響く羽音」が選出。展示された入賞作品は、来庁者たちの目を楽せました。



石越

野菜はこうしてできるんだね

石越小学校(阿部剛校長、児童186人)の4年児童27人が5月11日、同校庭にある学校花壇でヤーコンの定植を体験しました。

児童たちは、地域の学校支援ボランティアからヤーコンの栽培方法を教えてもらった後、全員で土壌づくりから定植までを体験。農作業経験が少なかった子どもたちは、目を輝かせながらひとつひとつの苗を丁寧に扱い、12株を植えました。秋には収穫を予定しています。

晴天下の熱気あふれる運動会

「登米小学校運動会」が5月15日、登米小学校(岩淵達郎校長、児童202人)で開かれました。

空は青々と晴れ渡り絶好の運動会日和の下、児童が紅白の2組に分かれて対決。児童たちは、紅白応援合戦、徒競走、綱引き、玉入れ、リレーで競い合ったほか、よさこいソーランのよっちょれを披露しました。新型コロナ対策のため例年より短縮したプログラムでしたが、両組の団結して頑張る姿に、会場は熱気で満たされていました。



登米

みんなで火の用心に務めます

「幼年消防クラブ任命式」は5月19日、南方幼稚園(千葉敦子園長、園児30人)で開かれ、新しく入園した10人が新たに幼年消防クラブの一員として任命されました。

任命式では新しく任命された園児一人一人の名前が読み上げられ、代表の園児に任命証を授与。ちびっこ消防隊になった園児たちは園長の話を聞きながら防火について勉強し、「みんなで火の用心に努めます」と、声を合わせながら元気よく防火の誓いを宣言しました。



南方



東和

交通事故のない町を目指して

錦織地区の「交通死亡事故ゼロ5千日達成表彰式」は5月19日、東和総合支所で開かれ、登米市交通安全対策協議会から錦織地域振興会に褒状が送られました。

同地区は、2007年9月から交通死亡事故ゼロを継続し、21年5月で5千日を達成。錦織地域振興会の佐藤徳夫副会長は「今回の栄誉は関係団体一丸となって取り組んだ結果。これからも市や登米警察署などにご教授、ご協力いただきながら継続していきたい」と、力強く決意しました。



津山

特産品わさびの作り方を学ぶ

「横山小学校わさび田見学」(伊藤秀樹校長、児童56人)は5月31日、津山地域でわさび田を営む堀田公雄さんの敷地内で開かれ、横山小学校の3年生12人が参加しました。

わさび田は、堀田さんの父が「津山町に特産品を作りたい」と始め、約30年続いています。児童たちは作り方を学んだ後、実際に採れたてのわさびを試食。児童たちは、2千本のわさびを一人で作っていると聞き、「すごい」「僕もわさびを作ってみたい」と、目を丸くして話しました。

健康増進と地域交流の運動会

「宝江小学校・宝江地区民運動会」(宝江コミュニティ運営協議会主催、千葉光夫会長)は5月15日、宝江小で開かれ、宝江小児童と地域住民約300人が参加しました。

同運動会は、小学校と地域住民の合同で開催し、今回で14回目。感染症防止に配慮して時間を縮小し、午前中のみで実施しました。中田中生徒の協力も受けながら、小学生から大人までさまざまな競技種目で競い合い、健康増進の向上と地域の交流を深めました。



中田